

私が推薦するもの
少くも

江戸戯作の主要著

岩城講座 日本より出づる第八卷

史書や文藝作品には 王政や幕府や他人の

王路を扱つてゐるもの、文学史や種々な史を

と、あるもの、流派、陰謀、評説がある

この、その、本路を詳らかにしたものが、

意外なほど、少い。我が国には、
この種のものは、

たゞ、不満を感じてゐる。私は、興洋要氏の

江戸戯作の

著

金吾、有人、志望、學文から監修

著者として、幕末から明治十八年

るまで、克明に述べ、手紙よく、煙草た、好個

の短篇である。の二つを釋りあげると、この二つは

木^いと^まお文学と教養とが、大とえその本質

とおり、また社会との関連状態において、

きわめて大きな相違があるにしても、私生活

戸^り戯^りの^り主^り路^りと^り私^り生^りの^り主^り路^りとを^り比^り較^りして、

か^りい^り感^り慨^りに^り堪^りえ^りな^りい^りの^りか^りあ^りる。

同年代

不満を感じ
ていた

なほど

浮遊

さか

いま

その指路の隆盛時代のことは

この、その衰微や本路を

のは、意外に少の

漱石

江戸戯作の本路と和算の本路

大まなおぼろげにあるんし、

またと

比較

感慨
い堪えなうものがある